



大空

PTA広報 第2号

令和3年9月21日発行

若基小PTA執行部

子供たち、地域での生活は大丈夫？

～地区でのアンケートからの報告～

以前は、各地区の地域住民の皆様と基山町3校のPTA 地区指導委員が一堂に会して児童生徒の生活を話し合う「地区懇談会」が開催されていましたが、一昨年度から行われておりません。今年度もコロナ禍の中、なかなか大人数での話し合いが持てないので、PTA 地区指導委員が各地区の運営委員会や安全に関する話し合い等に出席して、地域住民の皆様に登下校の様子や通学路の安全灯についてアンケートをお願いしてきました。このほど、その記録を集約し、7月21日（水）開催の第4回PTA 運営委員会で報告しましたので、会員の皆様にもお伝えいたします。なお、この報告には、町役場や学校に対する意見等も含まれておりましたが、本PTA だよりの主旨を勘案して、保護者向けのご意見を中心に掲載していることをご了承下さい。

■ 6区から（実施日：5月24日、対象者：区長、組合長、その他委員さん）

- ・ 暑くなると通学路の側にある水路で水遊びをしながらの下校が見られる。今は交通指導員の協力もあり、子供たちはマナーを守って登下校できている。
- ・ 田畑に石を投げている子供がいるので注意してほしい。
- ・ 自転車に乗っている子が急に飛び出してくることがある。
- ・ 登校時に挨拶をしても返事がない。特に高学年に多い。
- ・ 12区の小学1年の女の子が1人で登校していて心配。
- ・ 12区の児童は1人で登校している子供が多い。
- ・ セブンイレブンの駐車場を横切るとき、点滅信号で走り出す児童がいる。
- ・ 自転車に乗っている子がスピードを出し過ぎていて、危険だと感じる時がある。
- ・ 登下校がバラバラでもっと集団になってほしい。
- ・ 交差点での停止と左右確認のルールを指導してほしい。
- ・ 城戸インター下り側から学校裏門までの歩道脇にある、農業用水の溝は注意が必要。
- ・ 冬は暗くなるのが早く、街灯自体が少ない。城戸インター登り下り口で車の一旦停止が不十分で事故が心配。道路に砂利が散乱していて自転車は危険（場所の記載はなし）。



■ 12区から

- ・ 押ボタン式信号機の所で毎日「手を挙げて渡りましょう。」と言っているが、挙げる子供、挙げない子供と様々です。
- ・ 「横断歩道では手を挙げましょう。」と指導しているが、手を挙げる子供は少ない。
- ・ みんな元気に挨拶してくれるし、安心して見守っております。
- ・ 挨拶ができる子供が少ないようです。
- ・ 朝は「おはようございます」と明るく挨拶してくれます。下校時は「おかえり」と声をかけるとニコッとしてくれます。

- ・ 挨拶ができる子は下級生に数名見受けられます。昨年までは最上級生の挨拶の良い先輩が毎年おられました。
- ・ 進級にともない、各々自覚している（成長している）のが見えます。
- ・ 上級生が下級生の面倒をちゃんと見ており、一緒に登校しています。
- ・ 各々小グループに分かれて登校しており、1年生も慣れてきたようで楽しそうな姿を拝見でき、安心して見えています。
- ・ 下校時、低学年の子は道端のいろんなものに興味を示し遊んでしまっています。
- ・ たまに通学路を外れ、川沿いや田んぼ道を通る子供がいるので注意します。
- ・ 車や自転車が通るので、3名以上で横1列になって歩くのは感心しません。
- ・ うつむき加減で歩いている子供を見ます。前方をよく見てほしいです。
- ・ 毎日時間通りに登下校し、元気な姿で気持ちが良い。学校生活が楽しいのだろうと受け取れます。
- ・ 町道片山線 玉虫十三丁目五差路から氏林公園方面に向かう側溝に蓋がない。蓋が壊れており危険。
→ 昨年まちづくり提案で提出済。各区から同様の提案があった。各箇所状況が違っているので、優先順位を定めて整備してくとのこと（R3.5.30受）

■ 13～17区から

- ・ 13区の通学路は、トラックや車の多い歩道を通るので、立ち当番の際は、子供たちの安全を第一に考えています（最近、通学路に車が突っ込む事故とか多いので）。
- ・ 子供たちは、暑いせいか挨拶が足りてないように感じます。
- ・ 特に意見はありませんが、1、2年生の下校の様子を見ていると、いろんなことに興味を示し、歩くのに時間がかかるなあと思っています。
- ・ たまに子供たちが遊びながら道路をばあーっと走って横断し、危ないときがあるので気を付けて見えています。
- ・ 子供たちは毎日きちんと挨拶しており、仲良く登下校できています。
- ・ 朝の通学時、点滅信号の所で旗を持って立っています。左右確認し横断歩道を渡らせています。特に問題ある行動はありません。
- ・ 子供たちはきちんと挨拶をしています。
- ・ 数名で下校している時に、後ろを振り向かず車道側へぴょんと飛び降りる子を見かけました。
- ・ 外周道路と住宅内でスピードを出して走行する車があり、私たちも身の危険を感じる場合があります。特に子供たちに接触しないか心配です。

いかがでしょうか。我が子でない子供たちに、毎日時間を割いて下さり、真剣に改善のご意見を出して下さい、本当にありがたいですね。私たち保護者には耳の痛いご意見もありますが、真摯に受け止め、子供たちの安全・安心を確かなものにしていきましょう。これらのご意見に対しては、安全・生命に関することが多く含まれていましたので、学校では、2学期初めに、生徒指導担当から概要としてご意見を紹介され、その後、学級で各担任から、発達の段階に応じた指導をしてもらっています。ぜひ、ご家庭でも、今一度地区での子供たちの過ごし方、挨拶や登下校の仕方など、見直して下さい。今回、参考までにご意見をいただいた地区名を付けておりますが、その地区だけの問題と考えられず、自分の子供にも十分ありうること、と考えて、お子さんと話をされて下さい。車、水、火、不審者の被害から大事な我が子を守るよう、地域や学校の力を借りつつも、私たち自身が心掛けていきましょう。